

# 県内中小企業(製造業)景況動向

平成28年7月9月期

停滞感が漂う中、設備投資の動きも

本会調査結果概要



## 業種別景況動向

### 食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲18.7	▲21.4	▲40.3	▲26.8

前年同期比の売上高DIは▲38.9、収益性DIは▲41.7で、両方を合わせたDI平均値は▲40.3となり「雨」模様になっている。来期見通しは13.5ポイント上昇して▲26.8となり再び「小雨」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲16.7、収益性DIは▲38.7となった。

また、雇用人員判断DIは9.7、設備操業率DIは▲23.3、設備投資実施率は42.9%となった。

### 繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
12.5	▲8.4	▲15.7	▲26.0

前年同期比の売上高DIは▲19.3、収益性DIは▲12.0で、両方を合わせたDI平均値は▲15.7となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは10.3ポイント下降して▲26.0となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲11.6、収益性DIは▲15.8となった。

また、雇用人員判断DIは27.7、設備操業率DIは▲5.6、設備投資実施率は11.5%となった。



## 概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(前年同期比)については▲21.3となり、前回調査(28年4-6月期)の▲22.2から0.9ポイント上昇している。来期見通しにおいては、3.0ポイント上昇して▲18.3となっている。

売上高DI(前年同期比)については▲24.2となり、前回調査から2.7ポイント下降している。来期見通しにおいては▲19.7となっている。

▲18.3となり、前回調査から4.5

ポイント上昇している。

来期見通しにおいては▲16.9となっている。

業況DI(前年同期比)については▲18.7となり、前回調査から0.4ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲15.1となっている。

原材料価格DI(前期比)については4.2となり、前回調査から2.6ポイント下降している。

販売価格DI(前期比)については▲6.3となり、前回調査から0.1ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)については▲8.7となり、前回調査から1.6ポイント上昇し、好転している。





金融機関の態度DI(前期比)については▲1.9となり、前回調査から4.3ポイント下降し、硬化している。

設備投資実施率については26.7%となり、前回調査より2.4ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「食料品」の42.9%で、目的別では、「品質向上」が24.1%でトップとなった。また、設備投資計画率については33.8%となった。





設備操業率DI(前期比)については▲10.7となり、前回調査から7.5ポイント上昇している。

雇用人員判断DI(前期比)については2.7となり、前回調査から2.0ポイント下降している。





### 紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲35.3	▲29.8	▲8.3	▲12.5
<p>前年同期比の売上高D Iは▲16.6、収益性D Iは0.0で、両方を合わせたD I平均値は▲8.3となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは4.2ポイント下降して▲12.5となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは8.3、収益性D Iは25.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲25.0、設備操業率D Iは0.0、設備投資実施率は27.3%となった。</p>			





### 木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲22.2	▲15.0	▲16.7	▲25.1
<p>前年同期比の売上高D Iは▲16.7、収益性D Iは▲16.6で、両方を合わせたD I平均値は▲16.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは8.4ポイント下降して▲25.1となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲16.7、収益性D Iは▲25.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲16.7、設備操業率D Iは▲41.7、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			





### 金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲19.2	▲23.6	▲15.7	▲14.5
<p>前年同期比の売上高D Iは▲21.9、収益性D Iは▲9.5で、両方を合わせたD I平均値は▲15.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは1.2ポイント上昇して▲14.5となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲2.4、収益性D Iは▲16.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲6.4、設備操業率D Iは▲6.7、設備投資実施率は26.2%となった。</p>			





### 窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲47.7	▲47.2	▲30.6	▲22.2
<p>前年同期比の売上高D Iは▲36.1、収益性D Iは▲25.0で、両方を合わせたD I平均値は▲30.6となり「雨」模様が続いている。来期見通しは8.4ポイント上昇して▲22.2となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲16.7、収益性D Iは▲15.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは12.9、設備操業率D Iは▲9.7、設備投資実施率は22.2%となった。</p>			

### プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲7.2	0.0	20.0	▲10.0
<p>前年同期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とともに20.0%で0.0、収益性D Iは40.0で、両方を合わせたD I平均値は20.0となり「薄日」模様へ転じている。来期見通しは30.0ポイントの大幅下降で▲10.0となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とともに0.0%で0.0、収益性D Iは20.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは「上昇」、「下降」とともに0.0%で0.0、設備投資実施率は25.0%となった。</p>			

### 機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲12.5	▲11.8	▲16.7	▲9.9
<p>前年同期比の売上高D Iは▲15.7、収益性D Iは▲17.7で、両方を合わせたD I平均値は▲16.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは6.8ポイント上昇して▲9.9となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲11.8、収益性D Iは▲16.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲2.1、設備操業率D Iは▲4.2、設備投資実施率は33.3%となった。</p>			